



2008年6月18日
株式会社テムザック
株式会社ビジネスデザイン研究所
株式会社ゼットエムピー
ヴィストーン株式会社

ロボットベンチャー4社 結集！ “次世代ロボット市場創造連盟”発足！！

株式会社テムザック(代表取締役 高本陽一)、株式会社ビジネスデザイン研究所(代表取締役社長 木村憲次)、株式会社ゼットエムピー(代表取締役社長 谷口恒)、ヴィストーン株式会社(代表取締役 大和信夫)のロボットベンチャー4社は、このたび、更なるロボットの市場化に向け結集、次世代ロボット市場創造連盟 会長:株式会社テムザック代表取締役 高本陽一、連盟本部:ビジネスデザイン研究所(愛知県名古屋市中区) を設立しました。

4社は、福岡、愛知、東京、大阪に拠点を置き、各社次世代ロボットの製品開発を実現し、実際に販売活動をいち早く開始しており、次世代ロボット市場化努力を重ねております。今回こうした、各社ばらばらに取り組んできた市場化の努力を一つに束ね、次世代ロボットの市場化を促進するために、下記設立趣意の下、決起いたしました。



次世代ロボット市場創造連盟 設立趣意書

21世紀に入って次世代ロボットへの期待が高まってから、最初の10年が近づきつつあります。次世代ロボットの原型が登場した第一ステージ(99~2000年)、愛地球博で実証実験がクライマックスに達した第二ステージを経て、来るべき2010年代の第三ステージでは、私たちの身近な生活の中に大きくロボットが入り込んでくるものと思われます。

既に次世代ロボットは、一部の製品において、自動化による生産性向上、サービス業務の代替・補助、学生やものづくり人材の育成、生活の潤い、実機を用いた新感覚のエンターテインメントなどに、有効性があることを証明してきました。

しかしながら、こうした先駆的な事例を、真に国民経済全体に対する貢献へと拡張していくためには、研究・開発活動だけにとどまることなく、より直接的な事業化・市場化への取り組みが不可欠です。ロボット事業者の役割も、「技術のための技術開発」から、「顧客のための問題解決」「新しい生活・文化の創造支援」へと、大きく舵を切ることが求められています。

そこで、われわれロボットベンチャー企業4社は、次世代ロボットの市場化を促進するために連盟を立ち上げることとしました。

今まで、各社ばらばらに取り組んできた市場化の努力を一つに束ねることで、情報交換はもとより、販売マーケティング面での協力、技術の貸与・交換、社会的な啓蒙と宣伝、海外との提携など、市場化に必要な取り組みを広範かつ積極的に推進していく考えです。

参加企業が今回の連携を結ぶことによって、具体的には、次のような効果が期待できます。

ロボット製品を開発・販売して積み上げてきた顧客ニーズや問題解決の知見を、相互に融通しあえること。

マーケティング、社会的な啓蒙・宣伝活動などを共同で行うことにより、規模の効果が発揮できること。
参加企業はそれぞれ本社を福岡、愛知、東京、大阪に置いているので、各地域経済への貢献はもとより、今回の提携で全国横断的な事業ネットワークを強化できること。

従来1社の体力では対応に限界があった外国政府・海外企業(特にアジア)との連携を、共同で進められること。

実際に製品販売活動を行っている4社が提携し、次世代ロボットの市場化、および利用者の立場に立ったロボット活用ソリューションの普及を促進するために、ここに、次世代ロボット市場創造連盟の設立を発起する次第であります。

平成 20 年 6 月

設立発起人

株式会社テムザック 代表取締役 高本陽一

株式会社ビジネスデザイン研究所 代表取締役社長 木村憲次

株式会社ゼットエムピー 代表取締役社長 谷口恒

ヴィストン株式会社 代表取締役 大和信夫

[次世代ロボット市場創造連盟について]

目的：

次世代ロボット市場化の促進を図る

活動：

1. 商品共同販売の促進
2. 商品共同開発の促進
3. 各社が拠点を置く各地域でのビジネス展開の相互協力
4. 社会的な啓蒙活動での協力
5. アジア地域を中心とした国際展開促進のための相互協力
6. 海外動向の調査、および海外企業や団体との交流
7. その他、次世代ロボット市場創造のために付随する事項の相互協力

連盟本部：

株式会社ビジネスデザイン研究所内

〒460-0008 名古屋市中区栄 3-18-1 ナディアパーク

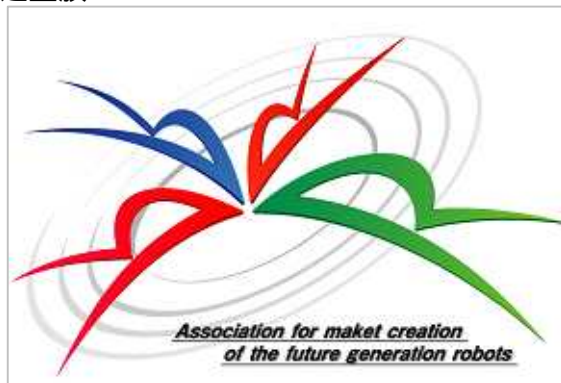
デザインセンタービル 7F デザインラボ

担当：鎌倉、加藤

電話：052-238-6720

E-mail: kato@business-design.co.jp

連盟旗：



～デザインコンセプト～

各社ばらばらに取り組んできた市場化の努力を一つに束ねるという設立趣旨を表現。

ロボット市場化に集まった企業が、元気で活発であることを表現する為に全体的にスピード感あるデザインにしました。カラーは、4社各社のコーポレートカラーを表しています。

会社概要:

株式会社テムザック [連盟会長]

福岡県北九州市小倉北区一丁目7番8号

2000年1月4日設立

母体の食品加工機械メーカー(株)テムス社にて1993年受付用ロボットの開発を開始。大型:レスキューロボット、中型:受付案内/警備ロボット、小型:家庭用留守番ロボット、研究開発:2足歩行ロボット、医療支援ロボットなどのロボット開発、製造、販売会社。

URL: www.tmsuk.co.jp/



株式会社ビジネスデザイン研究所 [連盟本部]

名古屋市中区栄三丁目18番1号

ナディアパーク・デザインセンタービル7Fデザインラボ

1990年9月設立

中部地区において産学官にて「イフボット」を開発、商品化。

「イフボット」「ハローキティロボ」、「よりそいフボット」「PoCoBoT」、受付ロボットメカドロイドタイプC3等の開発、製造、販売、米国UGOBE社のライフフォーム(新しい生命体)「PLEO」の日本総輸入販売元。

URL: <http://www.business-design.co.jp>



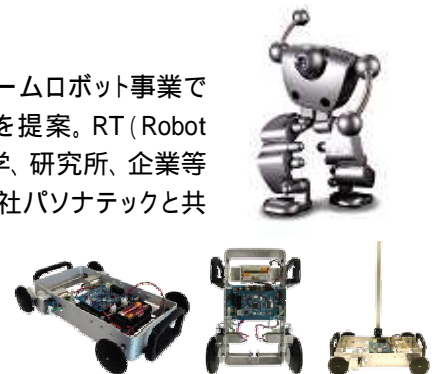
株式会社ゼットエムピー

東京都目黒区青葉台4丁目7番7号

2001年1月31日設立。ヒューマノイド PINO、nuvo を開発・販売するとともに、ホームロボット事業では、音楽ロボットの miuro によってロボット技術による新しいライフスタイルを提案。RT (Robot Technology) ソリューション事業では、e-nuvo シリーズが、工業高校、高専、大学、研究所、企業等に急速に普及中。2007年11月、株式会社 FRI、株式会社パソナテックと共に



にロボットの資格認定・検定会社である「株式会社ロボテス」を設立。URL: <http://www.zmp.co.jp>



ヴイストーン株式会社

大阪市此花区島屋四丁目4番11号

2000年8月設立

大阪大学大学院工学研究科石黒浩教授の全方位センサ技術を事業化するために設立された大学発ベンチャー企業。

自律ロボットサッカーの国際プロジェクト「robocup」で世界大会

4連覇を達成した技術を基盤に大型ロボット「Robovie-R」

「Vstone Tichno」やロボットキット「Robovie-X」などを商品化。

URL: <http://www.vstone.co.jp/>

